

令和 7 年 度
後 期 日 程

小 論 文

地域科学部

問 題 冊 子

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 本冊子は大問

 ・

 および各問題の後に付した下書用紙の合計 12 ページです。
3. 試験中に、落丁、乱丁、印刷不鮮明、汚れなどに気がつき、解答にさしさわった場合には、直ちに試験監督者に申し出ること。
4. 受験番号は、5 枚の解答用紙のそれぞれの指定された場所に、必ず記入すること。
5. 解答は、解答用紙の指定箇所に、正確な、読みやすい字で記入すること。
6. 解答用紙は、必ず提出すること。
7. 問題冊子は、持ち帰ること。
8. 大問ごとに、満点に対する配点の比率(%)が表示してあります。

I

以下の文章は、

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

の一部である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(配点比率 50 %)

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

問 1. 筆者は、コロナ禍の後遺症からのリハビリテーションは、本来的にどのようなものであるべきと考えているか説明しなさい。(100 字程度)

問 2. 筆者は、マスク着用の有無と感情の伝わり方の関係についてどのように考えているか説明しなさい。(150 字程度)

問 3. 筆者は、下線部において「この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。」と

述べている。このことについて、自らの体験を踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。

(400 字程度)

下書用紙(1)

I 問 1.

(100字程度)

5					10					15					20				

(100字)

I 問 2.

(150字程度)

5					10					15					20				

(100字)

(150字)

(地域科学部・後期日程)

下書用紙(2)

I 問 3.

(400 字程度)

	5	10	15	20	
					(100 字)
					(200 字)
					(300 字)
					(400 字)

- Ⅱ 以下の文章は、太田昌国「チャビン・デ・ワントル、^な哭く」(『「ペルー人質事件」解説のための21章』現代企画室、1997年、一部改変)の一部である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(配点比率50%)

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては、著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては著作権許諾の都合により公開しません。

この部分につきましては著作権許諾の都合により公開しません。

問 2. 下線部(b)に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) 著者は、いかなる「視点」から、「これらの報道」の「行間」を読み取ろうとしているのか。
本文中から 21 字の適当な文言を抜粋し、下記の空欄に入れなさい。

[illegible]

(2) 著者は、上記の「視点」をもとに、いかなる「行間」を「これらの報道」から読み取ったのか。
その内容を、本文に即して説明しなさい。(140 字程度)

問 3. 下線部(c)と関わって、現代におけるマスメディアの報道には、何らかのバイアスが働く場合が多いと思われる。それらは、社会的事象を構成する諸要素の内、特定の一部分ないし大部分を誇張あるいは隠蔽することにより、事象全体のイメージを著しく歪曲することもあり得る。そのような事例(任意)を一つ挙げた上で、そこに働いているバイアスと、それが生じる社会的背景について説明しなさい。(400 字程度)

下書用紙(3)

(200 字程度)

	5	10	15	20	
					(100字)
					(200字)

下書用紙(4)

Ⅱ 問 2. (1)

(21 字)

	5	10	15	20

する視点。

Ⅱ 問 2. (2)

(140 字程度)

	5	10	15	20

(100 字)

(140 字)

(地域科学部・後期日程)

下書用紙(5)

Ⅱ 問 3.

(400 字程度)

	5	10	15	20	
					(100 字)
					(200 字)
					(300 字)
					(400 字)